

【スコアラー】

- ・ ゲーム開始前のスターティングメンバー記入はコーチから聞いてスコアラー自身が記入する。キャプテンも確認し名前の横に（CAP）と記入する。その後コーチに確認のサインを記入してもらう。
- ・ 第1ピリオドは赤・第2ピリオドは黒・第3ピリオドは赤・第4ピリオドは黒で記入する。
- ・ ランニングスコアの欄は、各ピリオド終了時に、そのピリオドに使った色で横線を引き区切る。ゲーム終了時にあまりの欄に入る斜線は\の方向に斜線を入れる。
- ・ 第1・第2・第3ピリオド終了後、そのピリオドに記入したファウルの記号だけを太い線で囲む。ただし、あらかじめスコアシートに印刷されている太い線の部分や前のピリオドまでにすでになぞられている部分をさらに上からなぞる必要はない。まだなぞられていない細い線の部分だけをなぞるようにする。
- ・ スコアシートの最上段の各項目は、全て黒色で記入する。
- ・ テーブルに対して審判がファウルの番号を伝えたり、ゲーム再開時に合図したりした時には、了解の合図OKサイン（片手の親指を立てて示す）を出す。（連盟HP資料より）

【指導にあたって】

- 裏面に記載されたスコアシート記入例に従って、正しく、記入する。（練習試合だけではなく、体育館が使えない日など、選手全員で、ビデオや顧問がランニングスコアを伝えながら記入する練習をしておくのもよいかもしれません）
- 地区大会などの運営では、次のオフィシャルの準備がなかなか時間がなく、次の試合開始に間に合わないこともあります。必ず、確認をし、時間に余裕を持ってオフィシャル席に着くように心がけたいものです。
- スコアシートは本部席に、スコアラー本人が取りに行くことになっています。
- ランニングスコア以外の箇所は、時間に余裕を持って記入できます。落ち着いた字で記入したいものです。
- スタートを確認する際には、スターティングメンバーの番号を聞き、スコアを監督に向け、サインをもらいます。
- 記入の誤りがあった場合、ボールがデッド（アウトオブバウンズなど）になった時に、ホーンを操作し、審判に誤りがあったことを知らせます。
- ハーフタイムでは、両チームのベンチスコアラーと確認をします。個人ファウルの数を上から読み上げ、各ピリオドの点数と、ハーフタイムまでの合計点数を伝えます。誤りがあった場合は審判に知らせ、処置をお願いします。

【メモ欄】